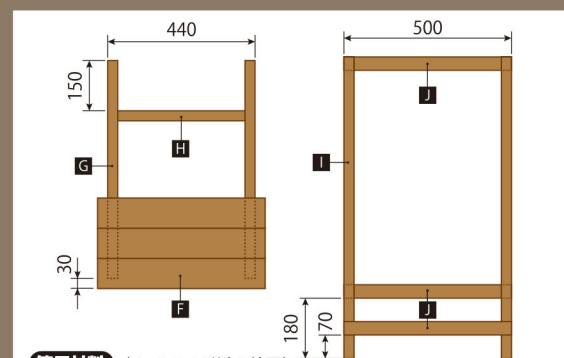


Outdoor Gear 2 キャンプチェアをつくる

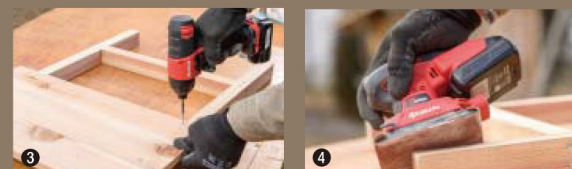
材料は厚さ15mm、幅90mm、長さ1820mmのスギ板1枚、同様に30×40×1820mmのスギ角材3本。背もたれにあたる部分には、ネット通販で数百円で入手できるコーヒーの生豆が入っていた麻袋を利用している。ビスは座板の接合に40mm、その他は65mmを使用する。



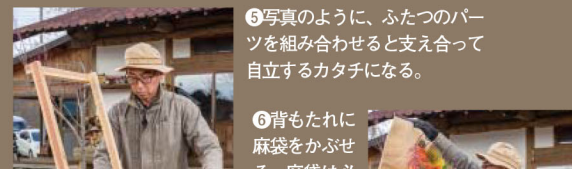
- 使用材料** (すべてスギ材を使用)
- A** 座板 (15×90×500mm) 3枚
 - B** 後脚 (30×40×650mm) 2本
 - C** 後脚貫 (30×40×380mm) 1本
 - D** 背柱 (30×40×900mm) 2本
 - E** 背貫 (30×40×500mm) 3本



①丸ノコで各材料を必要な長さに切り出す。端材を下に置いて材料を浮かせるとカットしやすい。



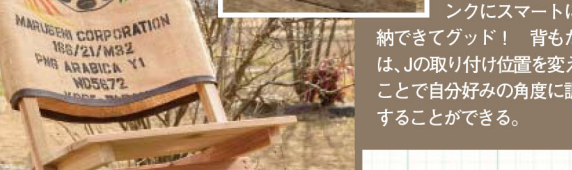
②図を参考にCとJ、HとGを65mmのビスを使って組み立てる。ビスを打つ前に必ず下穴を開けること。



③40mmのビスで座板を接合する。テーブルの天板と同じように、各板とも左右2箇所ずつビスを打つ。



④全体にサンダーをかけて面取り。とくに座板は角や表面を滑らかにしておくことで座り心地が良くなる。



⑤写真のように、ふたつのパーツを組み合わせて支え合って自立するカタチになる。



⑥背もたれに麻袋をかぶせる。麻袋は必要な長さにカットして、切り口を縫っておく。

完成!

背もたれと座板は分割して重ねるとフラットになるので、キャンプに持っていきときはクルマのトランクにスマートに収納できてグッド! 背もたれは、Jの取り付け位置を変えることで自分好みの角度に調整することができる。

家庭向け

京セラのPOWER アウトドアギア

必要なモノを自分でつくって、おうち時間も充実させてくれるシリーズ』で、庭やキャンプで使えるテーブル&チェアをつくります。

今回使用したPOWERシリーズの10.8V充電工具

充電式丸ノコ
BW-1110L2
価格2万8600円



充電式サンダー
BS-1110L2
価格2万2000円



充電式
ドライバドリル
BD-1110L1
価格1万6060円

充電式インパクト
ドライバー
BID-1110L1
価格1万6060円

切る、接合する、磨く、穴を開けるという木工の基本作業を網羅した京セラのPOWERシリーズ。この4つの工具があればちょっとした作業や家具づくり、家のリノベーションなど、たいのDIYはこなせる。また、同シリーズでは電動工具以外にも掃除ツール、樹木剪定ツール、庭の手入れツールなど多種多様なラインナップも展開。家庭で楽しく安全に、より良い住まいと暮らしを強力にサポートしてくれるのもうれしい。

ERシリーズで を簡単DIY!

DIY。今回は京セラの家庭向け電動工具「POWERシリーズ」で、庭やキャンプで使えるテーブル&チェアをつくります。材料費はふたつあわせて約3000円!

写真/藪崎大 文/和田義弥(人力社)

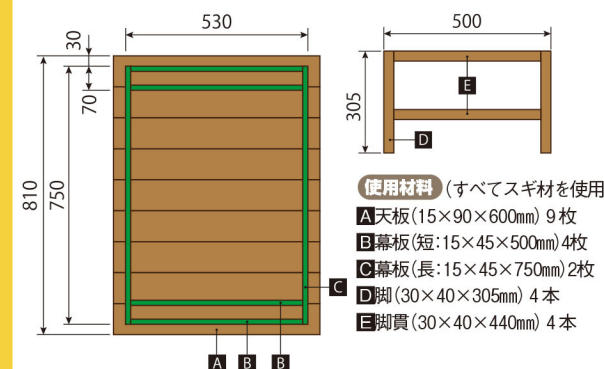
DIYの魅力は、必要なものを自分の好きなようにつくれることだ。市販品のような完成度を求める必要はない。用途を満たし、自分が満足できれば、それでいいのだ。ここで紹介しているキャンプテーブル&チェアは、アウトドアワールドへの持ち運びを考えたもの。ロースタイルのコンパクトサイズで、簡単に分解してフラットに収納できるのがミソである。材料に必要な寸法に切り出して、ビス(木ネジ)で接合するだけなので、図を参考にすればDIY初心者でも容易につくれると思う。材料を切り出すときは、木材の規格を知っておくといい。日本の木材は建築の観点から、長さは畳の長辺に相当する1820mmが基本。

準備は、最低限、材料を切るための丸ノコとビスを打つためのインパクトドライバーがあればOK。ネジ締めにはドライバドリルも使えるが、こちらは締め付け力を調節できるのが特長で、パワーは少し落ちる。ドリルによる穴開けには向いている。できあがった作品は仕上げにサンダーで磨けば完成度もアップ。以前はプロ用が主流だったクオリティの高い充電式工具が、近年はコスパが高い家庭用工具として使われるのがうれしい。さっと取り出してどこでも作業ができるので使い勝手もいいのだ。本当に欲しいモノはお店には並んでいない。自分でつくるものこそ最高のオリジナリティがある。

©京セラインダストリアルツールズ販売 ☎0570-666-787

Outdoor Gear 1 キャンプテーブルをつくる

キャンプテーブルのDIYで使用する材料は厚さ15mm、幅90mm、長さ1820mmのスギ板3枚、同様に15×45×2000mmのスギ角材2本、30×40×1820mmのスギ角材2本。材料を接合するためのビスは、脚の組み立てに長さ65mm、天板と幕板は長さ40mmを使用する。



- 使用材料** (すべてスギ材を使用)
- A** 天板 (15×90×600mm) 9枚
 - B** 幕板 (短: 15×45×500mm) 4枚
 - C** 幕板 (長: 15×45×750mm) 2枚
 - D** 脚 (30×40×305mm) 4本
 - E** 脚貫 (30×40×440mm) 4本



①丸ノコで各材料を必要な長さに切り出す。丸ノコの刃は材料の厚さより2~3mmの深さに調節する。深すぎると抵抗が大きくなり危険。②木割れを防ぐため、ビスを打つ場所にあらかじめφ3mmのドリルで下穴を開ける。穴開けにはドライバドリルを使用。③幕板と脚をビスで組み立てる。インパクトドライバーでビスの頭が少し埋まるくらいしっかりと打つ。



④40mmのビスで幕板に天板を固定する。天板1枚につき左右2箇所ずつ合計4箇所ビスを打つ。⑤全体にサンダーで木材の表面を磨き、角の面取りを行う。



完成!

テーブル両端の幕板の間に脚をはめれば完成! 脚はあえてビスで固定せず、取り外せるようにしておくのがポイント。外した脚が天板の裏にぴったり収まる設計なのでフラットにして収納すれば、持ち運びができるのだ。木材保護塗料で好きな色に塗装してもいいだろう。